

|        |  |  |
|--------|--|--|
| マツザカシダ | <i>Pteris nipponica</i> W.C.Shieh                      | 絶滅危惧 I 類   |
|        |  | イノモトソウ科  |
| 選定理由   | 岐阜県では生育地、個体数共に極めて少なく存続の基盤が脆弱である。                       | 写真(荻山恒弘)   |
| 形態の特徴  | 常緑性のシダ植物。葉は叢生し二形性。オオバノイノモトソウに似るが、葉は濃緑色で光沢があり羽片の対数も少ない。 |  |
| 生態的特徴  | 山地のやや明るい林下に生育している。                                     |  |
| 分布状況   | 県南西部の限られた場所に見られる。                                      |  |
| 減少要因   | 生育地の林下の光条件の悪化によると思われる。                                 |  |
| 保全対策   | 生育地の間伐等適度な管理。林道等整備の際には配慮が必要である。                        |  |
| 特記事項   | 葉に白い斑が入るものが見られるが、本来の自生であるかは不明。                         |  |
| 参考文献   | 岩槻邦男. 1992. 日本の野生植物. シダ. P. 133. 平凡社. 東京.              |  |

文責: 荻山恒弘